

研修だより

No.3

1学期の全校研が行われました。

7月9日(水)にカモカモ学級で中島先生の授業、7月14日(月)に6年1組で全校研が行われました。両授業とも「授業構想シート」をうまく活用し、子どもと一緒に授業をつくっていました。見通しをもって学習に取り組めるところもいいですね。また、子ども同士がうまく関わり合いをもてるような工夫もあり、授業に参加している子ども達はみんな楽しそうな様子でした。

事後研ではいろいろな意見が出ました。簡単にまとめましたので、ぜひご覧になってください。

カモカモ 中島学級 自立活動「自己紹介すごろく大会をしよう」



仮説1に関わって

- 子どもたちが何をやるのか明確になっている様子が見られた。
- デザインシートの活用がよかった。今後もいろいろな場面で使って定着していけるとよいと思った。
- △単元の課題と個人のめあてがあり、どこに向かっているのかわかりづらい場面があったように感じた。一本化、または単元の課題に沿ったものにするとよいのでは？
- △自立活動ではなく、支援学級ならではの教科指導の授業実践も参観したい。



仮説2に関わって

- 支援学級の子どもたちが互いの言動を意識して交流できる場面設定がよかった。
- △途中、子どもたちの集中力が切れているように感じられた。途中で、目的や目標を確認するなどの時間をとるとよかったかもしれない。
- △「相手のことを考えて行動できる」につながる個人目標に限定しても良かったのではと思った。
- △交流という意味では、他者評価があると良かったのではないかな。



授業全体を通して

- すごろくの作成というゴールが明確で子どもたちが見通しをもてる活動を選んでいるのがよかった。
- △5年生のこの時期に自己紹介の活動をする意図は？
- 一人一人、自分の役割を確認しながら、すごろくという楽しい活動に参加できていた。
- 先生が気付いた良いことを掲示(掛け声・拍手・はっきり…など)しているのがよかった。
- 問題を選ぶことができたので、見通しをもてた児童もいたと思う。

6年1組 木村学級

算数科「形が同じで大きさがちがう図形を調べよう」



仮説1に関わって

- 算数を生活に活かしたり、学習したことを活用した活動をしたりと、子どもが主体的に意欲をもって学習に参加できる仕掛けがあった。
- △本時の前が自由進度的な学習になっていたようだが、その学びの過程が本時の問題にどうつながっていたのかがみえづかった。
- △子どものモチベーションにつながりそう＆生活に活かそう学習のゴールのアイデアがすごく素敵ですが、時間を生み出すことが大変とも…どうしていますか。
- △授業構想シートとルーブリックは、本時ではどのように活用したのだろうか。また、使う必要感があったのか。



仮説2に関わって

- 個人思考と全体交流を行き来する様子がとても勉強になりました。
- 「班で話してみて」という、ちょこちょこ交流がたくさんあってよかった。
- △学習班の中で、なかなか考えがまとまらなかったり、思いつかなかったりする班があり、他の交流の仕方があるとよかったかも。



授業全体を通して

- 授業の導入で、必ず拡大図・縮図の関係になるかならないかを考える場面で、自分の立場をはっきりし、「なぜ」への話し合いに発展しやすかったと思う。
- チャレンジ問題は、グループの進度が違うときや、理解度を高めるために素晴らしいと思った。
- △児童が考えを深めるための「算数的活動」の準備が弱かった。教科書のQRコードを読み取ると、有効な作業のできるブラウザページにアクセスできる。

授業構想シートを用いた授業づくりに慣れ、効果的に活用している先生が増えてきました。子どもと一緒に学習をデザインすることによって、子ども一人一人が学習の見通しをもち、主体的に学習に参加できていることと思います。

さて、お二人の授業者のおかげで深めることができた校内研究ですが、まだまだ考えていくことがあります。授業中にどのように授業構想シートを活用するのか、ルーブリックを用いた評価をどのように行うのか（評価の方法、評価のタイミング）など、これからの授業実践の中で深まっていくといいですね。次の全校研は9月の中学年ブロックの授業になります。お忙しい時期の公開となりますが、よろしくお願いします！

中島先生、木村先生、ありがとうございました♪